

ブリリント錠 60mg、ブリリント錠 90mg

【この薬は？】

販売名	ブリリント錠 60mg Brilinta Tablets 60mg	ブリリント錠 90mg Brilinta Tablets 90mg
一般名	チカグレロル Ticagrelor	
含有量 (1錠中)	60mg	90mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗血小板剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血小板の働きを抑えて、血液を固まりにくくし、血栓症の再発を防ぎます。
- ・次の病気の人に処方されます。

ブリリント錠 90mg :

経皮的冠動脈形成術（PCI）が適用される急性冠症候群（不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞）（ただし、アスピリンを含む抗血小板剤2剤併用療法が適切である場合で、かつ、アスピリンと併用する他の抗血小板剤の投与が困難な場合に限る）

ブリリント錠60mg :

以下のリスク因子を1つ以上有する陳旧性心筋梗塞のうち、アテローム血栓症の発現リスクが特に高い場合

65歳以上、薬物療法を必要とする糖尿病、2回以上の心筋梗塞の既往、血管造影で確認された多枝病変を有する冠動脈疾患、又は末期でない慢性の腎機能障害

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・出血している人（頭蓋内（ずがない）出血、消化管出血、尿路出血、喀血、硝子体出血など）、血友病の人
- ・過去に頭蓋内出血をおこしたことがある人
- ・肝臓に中等度または重度の障害がある人
- ・過去にブリリント錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・肝臓の分解（代謝）酵素であるCYP3Aを強く阻害または誘導する薬を使用している人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・出血傾向およびその素因のある人（けがをしている、または手術を受けた直後の人など）
- ・腎臓に障害のある人
- ・高血圧の人
- ・体重の少ない人
- ・過去に脳梗塞または一過性脳虚血発作（TIA）になったことがある人
- ・徐脈のリスクの高い人（洞不全症候群の人、第2度または第3度房室ブロックのある人）
- ・β遮断薬を使用している人
- ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息等の呼吸器疾患がある人
- ・過去に高尿酸血症、痛風または尿酸腎症をおこしたことがある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[肝臓の分解（代謝）酵素であるCYP3Aを強く阻害または誘導する薬]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

[CYP3Aを強く阻害する薬]

イトラコナゾール（イトリゾール）、ボリコナゾール（ブイフェンド）、クラリスロマイシン（クラリシッド）、ネルフィナビル（ビラセプト）、リトナビル（ノービア等）、コビススタットを含む薬剤（スタリビルド等）

[CYP3Aを強く誘導する薬]

リファンピシン（リファジン）、リファブチン（ミコブチン）、カルバマゼピン（テグレトール）、フェノバルビタール（フェノバル等）、フェニトイン（アレビアチン等）、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

なお、この薬は、アスピリンと一緒に服用します。

急性冠症候群（不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞）

販売名	ブリリント錠90mg
一回量	1錠（初回のみ2錠）
飲む回数	1日2回

陳旧性心筋梗塞

販売名	ブリリント錠60mg
一回量	1錠
飲む回数	1日2回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

飲み忘れがないようにしてください。飲み忘れた場合には、次の服用予定時間に通常どおり1回分を飲んでください。決して2回分を一度に飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

出血や出血時間の延長があらわれるおそれがあります。また、胃腸障害、呼吸困難（息苦しい）、R-R間隔延長（心電図上の異常）などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中は、通常よりも血が止まりにくくなったり、出血しやすくなったりします。このことについて、患者さんや家族の方は、十分に理解できるまで説明を受けてください。異常な出血がおこった場合や出血が長引く場合は、ただちに医師に連絡してください。
- ・他の医師（診療科）を受診する場合、特に、手術や歯の治療などを受ける時には、この薬を飲んでいることを医師に必ず伝えてください。薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを薬剤師に伝えてください。
- ・この薬は、手術の5日以上前に使用を中止することが望ましいとされています。手術後にこの薬の再投与が必要な場合には、手術部位の止血を確認してから再開されます。
- ・出血を起こす危険性が高いと考えられる場合には、この薬の使用が中止されることがあります。また、出血が疑われる症状があらわれた場合には、検査や処置が行われることがあります。

- ・初回負荷投与およびアスピリンとの併用によって出血のリスクが高まる可能性があります。
- ・この薬を使用中に、呼吸困難（息切れなど）があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

副作用は？





特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
出血（頭蓋内出血、 消化器系出血等） しゅっけつ（ずがない しゅっけつ、しょうかきけい しゅっけつとう）	突然しゃべりにくくなる、突然のめまい、突然の意識の消失、突然の意識の低下、突然の頭痛、突然言葉が出にくくなる、突然の嘔吐（おうと）、突然片側の手足が動かしにくくなる、黒い便が出る、出血、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、吐き気、腹痛、便に血が混じる、嘔吐
アナフィラキシー、 血管浮腫 あなふいらきしー、 けっかんふしゅ	じんま疹、ふらつき、喉がつまる感じ、喉のかゆみ、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、声が出にくい、全身のかゆみ、息苦しい、動悸（どうき）
房室ブロック、洞停 止、徐脈性不整脈 ぼうしつぷろく、どうてい し、じょみやくせいふせい みやく	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ、脈がとぶ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、出血
頭部	めまい、突然のめまい、突然の意識の消失、突然の意識の低下、気を失う、立ちくらみ、突然の頭痛
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる
口や喉	喉がつまる感じ、喉のかゆみ、声が出にくい、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、吐き気、突然しゃべりにくくなる、突然の嘔吐、突然言葉が出にくくなる、嘔吐
胸部	息苦しい、動悸、息切れ
腹部	腹痛
手・足	突然片側の手足が動かしにくくなる、脈が遅くなる、脈がとぶ
皮膚	じんま疹、全身のかゆみ
便	黒い便が出る、便に血が混じる

【この薬の形は？】

販売名	ブリリント錠 60mg	ブリリント錠 90mg
形状	円形のフィルムコーティング錠 	円形のフィルムコーティング錠 
PTP シート		
直径	約 8.1 mm	約 9.2 mm
厚さ	約 3.8 mm	約 4.6 mm
重さ	約 0.21 g	約 0.31 g
色	ごくうすい黄みの赤色	うすい黄色
識別コード	60T	90T

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ブリリント錠 60mg	ブリリント錠 90mg
有効成分	チカグレロル	チカグレロル
添加物	D-マンニトール、リン酸水素カルシウム水和物、デンプングリコール酸ナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール 400、黒酸化鉄、三二酸化鉄	D-マンニトール、リン酸水素カルシウム水和物、デンプングリコール酸ナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、タルク、マクロゴール 400、黄色三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社 アストラゼネカ株式会社

(<http://www.astrazeneca.co.jp/>)

患者様相談窓口

電話：0120-119-703

受付時間：9時～17時30分

(土日祝祭日および弊社休業日を除く)